

※ 今週のアウトルック(8/15~8/19)

先週は水曜日に発表された米国CPIの予想外の低下を受けて、ドルが売られました。ドル安、円高方向へ幾分進んでいます。

今週はドル高、ドル安のどちらへも大きく動きづらい展開となる可能性が高そうです。FOMCまでは様子見スタンスが大勢かもしれません。

先週のドル円は水曜日にCPIの低下を受けて、132円台前半まで下落しました。その後、金曜日には133円台半ばまで戻してそのまま週末を迎えています。

今週は、木曜日早朝のFOMC議事録公開待ちとなりです。前半はレンジ内での取引、後半はFOMC次第という状況のように思います。FOMCで「インフレ鎮静化には至っていない、当面利上げは継続」というスタンスを確認できれば、再びドル高円安となる可能性が高まりそうです。

ドル円の予想レンジは132円から139.5円です。

先週のユーロ円は、水曜日の米国CPI低下を受けて下落、その後もさえない展開が続いています。

今週は、ユーロ圏の不安要素が増えていることなどからも、再び135円割れを目指す展開も出てくるかもしれません。

ただ、今週は大きく下落する可能性は少ないように思います。

ユーロ円の予想レンジは134円から139.5円です。

ポンド円も164円付近のレジスタンスを超えられず、再び下落傾向が幾分強くなっているようです。

今週は、サプライズがない限りはレンジ内での動きとなる可能性が高そうです。

ポンド円の予想レンジは160円から165円です。

米国CPI低下を受けて、ドル高、円安トレンドからフラットな動きとなっています。FOMCでサプライズが出ない限り、しばらくはレンジ内での動きになる可能性が強いかもかもしれません。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。